

環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



オレにキレる子をはじめとする、現代の子どもたちをめぐる様々な問題は、子どもが一生懸命遊ぶことで、「本当の遊び」をすることで、少しは解決できるのではないかと思えてよしかし。これは私が多くの子どもたちと接して、体験的にお感じたのです。

科学的説明は
存りません。教育学
や心理学、発達心
理学、社会学とい
うた本来遊び^レを
扱う研究からは、約
得るものはありません
せんでした。しかし
参考文献から東北大
学未来科学技術
共同研究センター川
島章太教授の脳に
聞いてみると、人間の
情動の抑制^レ（意欲制
御）など、人間古く
から持つ前頭前野
で最も大功をなす方
が、脳の中でも遊
んでいる時の遊
びをゲーム方式で
して、このゲームで
よりも従来か
らの遊びを

「TV」ゲームに熱中しすぎると、子どもたちは、珍めやしく、本意散漫で、創造性を養うのは、大人によつてしまつ。また、子どもたちのころに、いろいろな遊びを行ひ、多くの経験を

すうちには前頭前野
を鍛えることにより、こ
のことが将来社会で活
躍できる人間を育成す
ることにつながるとい
う衝撃的な発見をし
てはいる。



単純だけれど
むずかしい。
これがけん玉
なのです。



A group of children and an adult in a classroom setting. A young girl in a red dress is on the left, holding a yellow ball. In the center, a boy in a white shirt and plaid pants is looking down at a blue ball on the floor. To his right, a girl in a striped dress is holding a yellow ball. On the far right, another girl in a blue dress is holding a yellow ball. An adult woman in a grey vest and patterned pants stands behind them. The room has white walls and a blue carpet. A black cat is visible near the center. A date stamp in the bottom right corner reads "2013.06.26".